

全国的にも高評価！

## 未来チャレンジ探究学習

子どもたちが主体となって問いを立て、自ら調べ、考え、表現する「未来チャレンジ探究学習」。安芸高田市では、小学3年生以上が、一人一人テーマを持って学ぶ「一人一探究」に取り組んでいます。この「一人一探究」を市全体で実施しているのは、広島県内で本市だけ。日々の探究を通して、課題解決力や創造力、そして自分の考えを伝えるコミュニケーション力など、未来を生き抜くための力が育まれています。

### 探究学習の成果を発表



1月21日(水)には、「未来チャレンジ探究学習」発表会が開催されました。市内各小学校から1～2人、中学校からは2～3人の代表者が登壇し、それぞれが積み重ねてきた探究の成果を発表。昨年に続き、子どもたちが自分の言葉で学びを伝える貴重な機会となりました。



## 向原中学校が文部科学大臣表彰受賞！

向原中学校のMy探究の取り組みが高く評価され、「第18回 キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰」を受賞しました。4年前の未来チャレンジ探究学習導入当初から、先生が一方向的に教える「ティーチング」ではなく、問い掛けを通して考えを深める「コーチング」を重視。今年度は、3年生が「地域との連携」をテーマに加え、探究の場を学校の外へと広げています。



**私** たち教員だけでなく、吉田高校 探究科と連携し、高校生から探究の考え方を学びながら取り組んできました。今年度からは、3年生が1年生の探究をサポートする活動や、2年生が職場体験での気づきを基に探究を深め、事業所へ提案する取り組みにも挑戦しています。「失敗してもいいから、まずはやってみよう」という姿勢を大切に、生徒一人一人が自分にできる一歩を見つけてほしいと思っています。



教諭  
地京 彩さん

**絵** を描くのが好きなので、「伝えたいことをうまく絵にして表現するには」をテーマに探究しました。向原町にちなんだ漫画とポスターを描き、どちらが興味を持ってもらいやすいのか、また色使いによって見やすさや印象がどう変わるのかについて、仮説を立てて検証するサイクルを2回繰り返し、アンケートで調査しました。将来は絵に関わる仕事に就きたいと思っているので、今回の探究を生かし、場面に合った絵の表現方法を身に付けていきたいです。



3年  
城崎 蓮樹さん

問学校教育課 ☎お太助フォン 42-5628

子どもが主役！

## 未来をつくる 学びのチカラ

甲田中学校



市内の小中学校で行われている“学び”を紹介します

### ふるさとを未来へつなぐ、ミツマタ植樹活動

日本の紙幣の材料であるミツマタ。「安芸高田市ひろしまの森づくり事業」の一環として、1年生がミツマタの植樹活動に参加しています。この活動では、子どもたちが地域について学び、地域の方との触れ合いやふるさとの良さを実感して、自らの手でふるさとを支え、未来へとつなぐ意識を高めることを目指しています。活動は毎年3月で、場所は甲田町の教徳寺に隣接する山。今年は生徒約30人で150本を植樹し、樹皮を剥がす作業や、紙すき体験なども行います。いつかこの地で育てられたミツマタが紙幣の材料として活用されること、そして春には淡い黄色の花が咲き誇る観光地になることが目標です。

おれは丈夫なイメージがありますが、ミツマタから作られていると知って驚きました。植樹は急斜面での作業だったので大変でしたが、紙すき体験はヌルヌルした感触が面白かったです。もっとたくさんの人に、甲田町のミツマタのことを知ってもらいたいです。



三橋 菜乃さん  
(2年生)

園田 愛菜さん  
(2年生)

樹皮を剥がす作業はちょっと難しかったけど、「ゆっくり剥がすとちぎれにくいよ」と地域の方に教えてもらい、上手にできました。私たちが植えた場所に、また次の年も後輩たちが植えていって、こうしてミツマタが何年も受け継がれていくんだと実感しました。

問学校教育課 ☎お太助フォン 42-5628

## 国登録有形文化財(建造物)登録

### 奥田家住宅 (向原町)

主屋・土蔵・牛小屋・木小屋・門

1884(明治17)年に建築された向原町の奥田家住宅が、2025年11月17日付で、国土の歴史的景観に寄与しているものとして、有形文化財(建造物)に登録されました。

奥田家敷地内の「観農亭と象圓池(離れ座敷と庭園)」は市の重要文化財に指定されています。



主屋

内部の広大な土間、座敷の違い棚や部屋境にある凝ったつくりの欄干彫刻など、大規模で良質な主屋



土蔵

外壁はしっくい塗り仕上の重厚な土蔵



門

東脇にくぐり戸を設けた薬医門

問生涯学習課 社会教育係  
☎お太助フォン 42-0054